



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

Discover a New World 見つけよう

of Service

奉仕の新生面

1984~'85 R.I 会長 カルロス・カンセコ

猪熊会長 クラブターゲット 見なおそう 出席・親睦・そして奉仕を・・・

第 319 回 例会 59 年 11 月 1 日 第 325 号

### 出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
50名	39名	79.6%	100%

欠席者(10名) 病欠1名  
古川、古木、古田土、小島、南川、三浦、中西  
鈴木、竹之内、土屋

本日のプログラム 11月 8日

辻 国明君「ロータリー財団について」

次 週 予 定 11月 15日

クラブフォーラム「社会奉仕について」

司会 SAA 近藤富士男君

ソングリーダー 上村 幹雄君「君が代」  
「我等の生業」

### 〈ゲ ス ト〉

津田 進 第259地区ガバナー  
亀谷志郎 第11分区代理

### 〈ビ ジ タ ー〉

矢部隆司君 小島清滋君(横浜瀬谷)  
松田春雄君(厚木) 野原 勲君(藤沢北)  
林 佑君(相模原南) 野島幸雄君(座間)  
星 幸男君、蒲生秀雄君、古谷忠治君  
太田正孝君、金末 守君(大和)  
飯田忠彦君、鈴木由郎君(大和田園)

- 去る10月27日に開催されました横浜たまロータリークラブの認証状伝達式に当クラブより私を含め5名が参加致しました。特に新会員の方々がご参加下さり大変良い経験をして下さいました。
- 過日慰問致しました敬愛寮から当日のお礼状が届いております。(回覧)
- 横浜たまロータリークラブのバナーを頂戴して参りました。(回覧)
- 悲しいお知らせですが当クラブの創立時の会長でもありエイドとしてご指導いただきました大和RCの小武さんのお母様が昨日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

### 〈会 長 報 告〉

○又、カレンダーが一枚へり何となく冬がやって来たような感じが致します。

### 〈幹 事 報 告〉

○只今会長報告にございました小武さんの御母堂

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1-5-40  
大和市商工会館内  
☎0462-63-7926  
例会場：大和市大和南1-4-4  
八千代信用金庫大和支店4階  
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より  
会 長：猪 熊 唯 夫  
会長イレク：上 田 利 久  
副 会 長：藤 田 重 成  
幹 事：伊 藤 英 夫  
会報委員：松本(三)・上村・伊藤(宣)

さまのお通夜、告別式は次の通りです。

お通夜 今晚(1日)7時より9時 於自宅  
告別式 明日(2日)午後2時より3時 於自宅  
我々のクラブ創立時に会長として又、エイドとしていろいろお世話になった方ですので宜しく  
お願い致します。

## 〈委員会報告〉

ロータリー情報委員会 委員長 寺田伍六君  
先般の炉辺会合には新会員の方々全員ご出席いただき有難うございました。その折に話のありました新しい手続要覧ご入用の方は事務局へお申し出下さい。

青少年奉仕委員会 委員長 二見長幸君  
このたび大和市内三クラブ合同で大和市子ども会連絡協議会主催の親と子の映画会を共催することになりました。出来上がったパンフレットをお手許に配布してございますのでご覧下さい。皆様に是非前売り券を買っていただきたいと思ひます。来週の例会で受けつけ、次の週にお引換えします。小さいお子さまのおられます方はご協力の程お願い申し上げます。

親睦活動委員会 委員長 後藤定毅君  
四クラブ合同ソフトボール大会を来る11月17日(土)午後1時より車体工業(株)グラウンドで開催致しますので多数のご参加をお願いします。

## お 祝

御夫人お誕生日 種ヶ島 実君朝子夫人(11月3日)  
結婚記念日 近藤富士男君 (11月3日)  
後藤 定毅君 (11月3日)

一時的な存在を超えて

私達のロータリーが、単に一時的な存在にとどまらない運命だとしたら、それは、私達が互いの弱さを忍ぶことの重要性、つまり、寛容の価値を知っているためにほかならない。

…ポール・ハリス

## 〈卓 話〉 第259地区ガバナー 津田 進殿

津田ガバナーご紹介 亀谷志郎 第11分区代理  
ガバナーは大正11年生まれの眼科のドクターです。千葉大学医学部を卒業後慶応大学で研究され現在医療法人津田会津田病院の理事長及び院長です。ロータリー歴は昭和35年川崎北RCチャーターメンバーとして入会され45年に会長46年以降地区の各委員長等を歴任されておられポールハリスフェロー、米山功労者です。お家柄は名門で織田信長のご三家にあたります。川崎市眼科医会々長等数々の公職もお持ちです。

亀谷分区代理からこちらのクラブの事につきまして詳細なご報告を頂いております。仲の良い和やかなクラブであり、ロータリーの心を最も心得ているクラブであるとおっしゃっておられることが全くその通りであると感じております。

私はこういう言葉を聞いた事があります。「クラブは貴方を会員にする事は出来るが、貴方をロータリアンにする事は出来ない。貴方自身になることである。貴方がロータリアンになった時は、①例会への出席を楽しむようになる時、②個人としての奉仕を自覚出来た時、③地域社会職業会へのロータリー大使となった時、④貴方に貸与された分類が名誉だと感じた時」これはシカゴクラブの会報に載っていたということです。なかなか含蓄のあることを言っていると思ひますので、今日はこの言葉の一つずつについてお話をしてみたいと思ひます。

クラブは貴方を会員にすることは出来るが、貴方をロータリアンにすることは出来ない。貴方自身になることである。

ザ・ロータリアンでロータリーは人間を変えるかというシンポジウムを開いたことがあります。が結論としましては、皆でよく新会員の面倒を見る。知識とインスピレーションを新会員に与える。活動に参加させる。というような課程を通じて人間は変わる。明らかに人間の質を向上させることが

出来る。又、新会員にどんなことが起こるかは他の会員がよく彼の面倒をみるかどうかで決まる。他の会員がこまめに面倒をみることによってこの新会員は真のロータリアンになるのであり、そのことによって、ロータリーが人を変えるということが証明される。と結んでいます。しかし果して古い会員がよく面倒をみれば誰でも新会員が人が変わって真のロータリアンになっていくのかといえややはりそれは「ノー」と言わざるを得ない。与えられたものをただ受けとるだけでは果せないものがある。自分の手でそれを獲得しようとして自分の意志と智恵を働かせなければやはり大事なものは手に入ってこないと思われます。

ロータリークラブという大変すばらしい組織があり、そこで立派な友人達と出逢う。という中で研鑽をつみ重ね、その成果というものを自分の職業生活、或は社会生活、又国際活動に適用していく時にこの人達をロータリアンと呼ぶのだというように定義づけてみたいと思うのです。そう言いながら私自身果たしてロータリアンと言えるかどうか内心じくじたるものがあるわけでございます。

1962年の国際ロータリー理事会が採択しました声明にロータリーの基本的特色というのがあります。がその第5項に「ロータリークラブは会員、その個人生活及び実業又は専門職業活動に於ける高い道徳的水準をみとめ且つこれを実現したいという希望を持つようになる機会を与える」と出ております。やはりこれをみましてもロータリークラブというものには会員にその機会を与えるだけであって、ただちに人間を変えるとは考えていないように思うわけであります。

貴方がロータリアンになった時は例会への出席を楽しむようになる

綱領の(1)は奉仕の機会として知り合いを拓めること。となっておりますがこれは大変誤解されやすい言葉であると思われます。一人では奉仕が出来ないから大勢の人と知り合いになって多数の力で奉仕をやろうという事だというふうに解釈して

いる人がかなりおるように思われます。がこの綱領の意味するところは、むしろ逆であろうと思われます。例会へ出席して他の優秀な職業人と出逢うという事が自分の奉仕の心を養う大事な機会になるのだという事を言っているように思います。例会へ出席するのは、まさしく自分の為に…であるからこそ出席するのは楽しいということ言っているように思います。例会へ出席することが自分の心を養うことになり、又半面、相手の為にもなっている。という出逢いの意味があるからこそロータリークラブの例会は楽しいのだという事を言っているように思います。それがもし、大勢の人と知り合って他数の力で奉仕をするのだという誤解から出発致しますと、次には社会奉仕、国際奉仕活動等を活発に展開するためには、職業分類の枠をゆるめても、出席をゆるめても、会員増強をはかるべきであるとか、或は多数の力、財力を結集して国際問題等に貢献すべきだといった論議もなってくるように思われます。広い世間ですから、そういった団体もあって結構ですが、然しそれはもはやロータリークラブとは言わない訳であります。

ロータリーのいう「知り合いを拓める」ということは心の友を求めることで、クラブ活動を通じて友愛心の交流する場を作りあげる。それが例会であります。従ってロータリーの奉仕活動というものは、この友愛心の交流を源泉としているのであって、決して数の力、多数の力を源泉とはしていないということをややはり銘記しなければならないのではないかと思います。

次の貴方がロータリアンになった時は個人としての奉仕を自覚出来た時：

昭和56年2月号のロータリーの友に、「国際奉仕で道に迷っていないか」というザ・ロータリアンの記事の翻訳が転載されておりました。この記事は国際ロータリーの国際奉仕活動に一石を投じたということ当時読んだことがあります。デ・ジュー氏はこんなたとえ話で問題を提起しております。中近東の民話に出てくる老人の話ですが、その老

人は失くした鍵を見つけようとして全く見当違いの場所を捜していた。ただ単にそちらの方が光が当って明かるいからという理由だけで違った場所を捜していたわけです。デジュール氏のこの論文は時期からいって3Hプログラムに対して一石を投じたと考えてよいと思います。

一人一人のロータリアンの活動を推進するのがロータリーの任務であって、世界のロータリアンを一まとめにして何かやろうとすると却って3Hプログラムのような中途半端な結果になるのであります。日本のロータリアン80,000人の一人一人が自分の住んでいる地域社会で10人の地域の人を集め、或は100人の青少年の賛同者を得て奉仕活動を展開するとするならば80000の10倍、100倍の活動に…処がクラブの奉仕活動にお金だけ出してまかせてしまいますと日本全国で1500の奉仕活動に、地区にまかせれば26の奉仕活動に、国際ロータリーにまかせれば、たった1つの活動になってしまうわけでありまして、1923年のセントルイス大会決議に34号という有名な決議がございますが、そこに「奉仕の理論が職業及び人生に於ける成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。つまりクラブで学ぶこと。そして各人が個人としてこの理論をそれぞれの職場及び日常生活に於て実施に移すこと」というように出ております。更にこの決議はロータリークラブが団体として地域社会に対して実施を示すことは大事であるとしておりますけれども、それにはロータリーの会員数には限りがあることを考えて、現存機関に協力する形の方が望ましいのである。社会のニーズというものは沢山あるのですからその一つ一つに深く係わるよりも適切な問題点を指摘して、地域社会に維持、責任を自覚させるプロパグандの役割の方が成功を収める。と記しております。そしてクラブが一かたまりになって行動するよりも広くロータリアンの個々の力を動員するものの方がロータリーの精神によりかかっているというふうなふんでおる訳であります。

次の言葉でございますが、貴方がロータリアン

になった時は地域社会職業会へのロータリー大使となった時：

例会は友愛心の交流する場でロータリーの奉仕活動はこの友愛心を源泉としているのであります。クラブ内での友愛心を確立させる為に1905年第1回の会合でポールハリスは一業一会員の構想を明らかにしています。この構想は今でもロータリーの第一級の原則として守られなければならないと思うわけです。が一業一会員ですと地域の各職種から一人あて会員が入ってしまいますと、それ以上は入会出来ないわけでありまして。そこでロータリーは初めは各職種から選考しまして会員を入会させますが、今度はロータリーから彼等の同業者へロータリー大使として会員を派遣する。という考え方をするわけでありまして。会員はロータリーへ入会して例会出席を通じて得たものを自分の企業に持ち帰り、或は自分の家族に、同業者、地域社会へ還元する訳であります。これによって一業種一会員という限定された会員の輪を次から次へと広げていこうとするのがロータリーの図式であるわけでありまして。

ロータリアンになった時は貴方に貸与された分類が名誉だと感じた時：

会員増強にあたりましては、先ず地域社会のあらゆる職種の横断面を代表する充填、未充填分類表を作るわけです。そして未充填部分について入会候補者の推選、選考を行なう。その地域で一つの職種について何人も人がいるの中から果して誰を選ぶかというこの手続きがロータリーの質の保全につながるわけです。クラブ定款第5条第1節を具体的に言ってみるならば、入会候補者はその素質として少なくとも二つの条件を満たす人であってほしいと思います。①ロータリーを閉鎖的なものとしないうちに、ロータリーで身につけたものを業界へ伝えられる人であってほしい。②相手の身になって物事を考えられる人であってほしい。ロータリーに入ってほしいという人は自分の企業の繁栄が他の人の繁栄にもつながる。という企業

感覚をもった経営者であってほしい。個人個人というものはバラバラであるけれども、自分と他人は目に見えないヒモで結ばれているということを自覚出来る人であってほしい。(たとえ話によって説明)

1933年のボストン国際大会でポールハリスが講演しておりその中で「ロータリーの基本発想は一業一会員プラス例会出席である」と述べております。地域社会に奉仕家や活動家が何人いても一業種について一人きり入れないのであるから、ロータリークラブは奉仕クラブというより職業分類クラブという方が正しい。一業種について一人という事は必然的にその会員は業界に於ける優秀な職業人ということになる。地域社会の職業人の総数から見れば確かに一握りにすぎないかも知れないけれども職業分類と会員選考の手続を経て入会した職業人の出逢いの方が、質におかまいなく同業関係にもルーズにただ数だけ沢山集めた団体よりも社会改良の高いポテンシャルを持つ、ロータリーの神髄はこれきりないというようにも述べております。以上がシカゴクラブの会報に載ったという一部についての感想を終わる訳ですが、もう一度はじめの言葉に戻ってみたいと思います。「クラブは貴方をロータリアンにすることは出来ない。貴方自身になることである。」これは決して容易なことではないように思います。ロータリアンに行動の指針を与えロータリーの理想像を示すものは何か? といいますと、ロータリーの綱領、二つの標語、四つのテスト、道徳律決議23-30等々あります。がこれらの行動指針で自分の心を武装して身構えて千差万別の日常生活の中で奉仕の理想を実践出来るのかといいますと「それはザルで水をすくうようなものである」とあるクラブの人が言っております。然しながらザルで水をすくうのではなくて水の中にザルを入れるのならば、たやすく行なうことが出来るではないか、人間の心というものは無限であるから奉仕の海の中に個人生活も職業生活も社

会生活も浸しておけば良いではないか。そうすれば職業も営利のみに走り終わることは、ありえないであろう。事業というものは営利をはなれて成立しないと同時に社会の福祉を無視したのでは意味をなさない。従って営利と福祉のマッチした所に事業の真の使命がある。結局、人柄が出来ているか否かが問題であって奉仕というものは形の問題でなく、心の問題である。とも同氏は言っております。が水の中にザルを入れるという事も決して容易な業ではない様に思われるのです。(法華経の經文にも例をとってお話されました。)

### クラブ協議会

司会 猪熊唯夫会長

全委員会を六グループに分け、猪熊会長司会のもとに各委員長より発表がなされ、それぞれのグループ毎にガバナーよりコメントをいただきましたが2週間前のクラブ協議会のものと重複致しますので委員長発言は省略させていただきますので御了承下さい。

#### 1.職業分類・会員選考・会員増強・R情報

分類は現状に合わせた素晴らしい見直しと修正がされており敬服。選考の際の判断の基準が明確で大変良い。増強の独得のこれだけの計画性に対して敬服。R情報は新旧会員混えての勉強会に意義がありとても良い。四委員会とも大変立派です。

#### 2.出席・親睦活動・プログラム・スマイル

出席優秀クラブとして今後とも地区のお手本となって頂きたい。親睦は私と全く同感の、心の窓を開くというお考え嬉しく思います。

プログラムはいろいろ御工夫のあとが見られます。スマイルは皆さんの自然の感情でしていただいている分には問題はないのですが、強制的な感じ、わざとらしい感じ等々問題が起った時は、会費を上げるべきかスマイルに頼るべきかを皆様で討論をしていただきたいと思います。

#### 3.雑誌・広報・クラブ会報

クラブ会報はレイアウトを工夫して最大限に紙面を活用してほしい。4頁が標準だと思う。

雑誌委員会の仕事は会員に読ませる工夫をしなくてはならない。結果を見るより誘導することである。広報は活動がなければ広報にならないが広報媒体に載せるための活動が主体でないロータリーの広報は確かに難しい面がある。

#### 4.職業奉仕

月信第5号で職業奉仕について書いてありますのでご一読いただきたい。ロータリーでは職業奉仕、職業倫理について80年の歴史の中で一番大きな命題として取り扱ってきています。が弱肉強食の自由経済社会というものが現存している中でロータリー的にどのようにしてアプローチするかということについて前年度地区職業奉仕委員長で親クラブである大和クラブの塚本さんがまとめられたものがありますので塚本さんを中心に勉強会のようなものをやられるのもよいのではないかと思います。

#### 5.社会奉仕・青少年奉仕

現状をよく調査することから始めていかないといけない。ただ活動すればよいのではなく、どのようなものが要求されているのか。日の当らない、取り残されたような所に変大大事なものが見落とされている場合があります。世の中も最近は何より心であるという考え方にきています。そういう面ではロータリアンに一日の長がある筈ですから、地域の本当のニーズを捜し出していただきたい。それにはフォーラム等でよく研究し、本当に喜ばれる行動をお考えいただくことが大切。

#### 6.国際奉仕・ロータリー財団・米山記念奨学

ナザレ園への援助窓口としての御活動は是非お願いします。青少年交換についてはいろいろな問題がありますが、地区としましてもここ3年計画ぐらいで整備していく積りです。財団・米山ともご協力を感謝致します。

一ガバナーへのユニークな発言等、当クラブらしい賑やかで楽しいクラブ協議会でした。一つ一つ

親切に適切なアドバイスを下さいました津田ガバナーに深く感謝申し上げます。—

#### 〈スマイルボックス〉

委員長  
北砂富三君

津田 進ガバナー 本日は当クラブ公式訪問に伺いました。皆様と共に有意義な一時を過ごしたいと思います。

亀谷志郎第11分区代理 津田ガバナー公式訪問有難うございます。御指導お願い申し上げます。

藤沢北RC 野原勲君 初めてお伺いします。

横浜瀬谷RC 小島清滋君 お世話になります。

横浜瀬谷RC 矢部隆司君 お世話になります。

厚木RC 松田春雄君 本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

大和RC 星 幸男君 本日も宜しく。公式訪問ガバナー御苦勞様です。

大和RC 蒲生秀雄君 お世話になります。

大和RC 古谷忠治君 大高さん、先日は有難うございました。

大和RC 太田正孝君 久しぶりにお伺いしました。宜しく申し上げます。

座間RC 野島幸雄君 いつもお世話になります。宜しく申し上げます。

大和RC 金末守君 いつもお世話になります。

大和田園RC 鈴木由郎君 お世話になります。

大和田園RC 飯田忠彦君 いつもお世話になります。今日はガバナーの公式訪問に伺えて幸いでした。

猪熊会長、伊藤幹事 津田ガバナーよくおいで下さいました。宜しくお願い致します。

近藤富士男君 結婚記念のお祝有難うございます。

後藤定毅君 結婚記念祝有難うございます。

13年間愛を暖め続けて来ましたが最近は何のせいか疲れて参りました。

種ヶ島 実君 古女房の誕生日を祝っていただいて有難うございます。